

学 則

- 1 研修の目的 在宅福祉サービスの中核となる介護職員の養成を図り、高齢化社会への対応の一助として、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図る為に、必要な事業として行う。

- 2 研修の名称 広尾町介護職員初任者研修養成講座

- 3 研修の要旨

事業所の所在地	研修形態	修業年限	研修期間	定員（人）	受講料（円）	受講対象者
広尾町	昼間・夜間通学	1 年	3 ヶ月	10 名	無料	広尾町民

- 4 受講手続

- (1) 募集時期

- 概ね、開講開始の 2 か月前から募集し、1 か月前に締め切る。

- (2) 受講料納入方法

- 申し込み時に持参又は金融機関に振り込む事。尚、研修開始までに受講料の納入のない場合には、受講を断る場合がある。

- (3) 受講料返還方法

- 開講前については、当会の都合により講座を中止する場合に限り、受講料を返還する。研修開始後は、理由の如何を問わず、受講料の返還は一切しない。

- 5 カリキュラム

- 別添のとおり

- 6 主要テキスト

- 二訂 介護職員初任者研修テキスト（一般財団法人 長寿社会開発センター）

- 7 修了認定

- (1) 出欠の確認方法

- 各教科の開始前に出欠確認を行う。（事前に講義開始前に受講生に出席カードを提出してもらい、終了後に押印の上、返却する）

- (2) 成績の評定方法

- 講義終了時に初任者研修における到達目標、評価ポイント等に沿って、受講生の習熟度を評価。

- (3) 修了の認定方法

- 修了認定は研修科目全てを受講した者とする。
- 認定方法は、講師による評価及び筆記試験を実施する。尚、筆記試験については全体の 6 割以上の正答率で、合格とする。ただし、6 割以上の正答がない場合は再試験を行う

ものとする。

(4) 修了証明書

- ・研修修了者に対し、修了証明書（携帯用含む）を交付する。
- ・研修修了者から紛失又は氏名変更等により、再発行の依頼があった場合は、再発行手続きを行うものとする。その際は、運転免許証等により本人確認を行い、写しも保存する。

8 補講の取扱い

- ・演習、実習を欠席した場合は、後日行う補講を受講するものとする。その際の受講料は1回あたり、5,000円とする。

9 退学規定

- ・受講者が退学しようとする時は、所定の退学届を提出する事とする。
- ・受講者が当会の定める諸規定を遵守せず、又は受講者の本分にも劣る次の行為があったときには、退学を命ずることがある。

ア、性行不良で、改善の見込みがないと認められるとき

イ、学力劣等で、修了の見込みがないと認められるとき

ウ、正当な理由なくして、出席が常でない者

エ、研修の秩序を乱している者

オ、研修開始日までに受講料の納入がない者

10 講師

- ・別紙のとおり

11 実習施設

- ・別紙のとおり

12 その他

- ・研修実施に係る関係書類は、終了後5年間保存するものとする。ただし、修了者名簿については、永久保存とする。
- ・受講者は、ボランティア活動に主体的に参加するよう努める事。

注1 事業者が学校等の場合で、法令上定めている学則があっても、介護職員初任者研修に関しての学則を別途定めるものとする。

2 事業者は、学則そのものを提出する（本様式は、例示である。）。要綱10(1)に掲げる項目については、その内容が含まれるならば、別の名称であっても、項目を統合、追加しても構わない。なお、項目によっては、必要に応じて、別紙として添付すること。

3 項目ごとの内容は、以下の点に留意する。

(1) 「研修の形態」は、講義の実施方法（昼間、夜間及び通信の別）を記載すること。

(2) 「修業年限」は、要綱4(3)の期間内であること。

(3) 「研修期間」は、研修（講義、演習、実習）の開始から修了までの標準期間を、年、月又は日を単位として記載すること。例 1年、3か月、90日

(4) 「受講料」は、講習料、教材料、実習料等受講者が共通して負担しなければならない費用の総額であって、1人分を記載すること。

(5) 「カリキュラム」は、別紙1に定める科目（項目）を含み、科目（項目）名、研修時間数等を記載すること。

(6) 「出欠の確認」は、講義・演習、実習において出欠を確認する方法、出席簿等について、記載すること。

(7) 「成績の評定方法」及び「修了の認定方法」は、要綱12を満たすものであること。修了するには、すべての科目（項目）を受講しなければならないこと。

(8) 「補講の取扱い」は、例えば、補講の対象者、受講費用、上限時間数等を記載すること。

(9) 「退学規定」は、退学の手続方法（受講者から退学を求める場合と事業者が一方的に

退学を命じる場合の方法等）を記載すること。

(10) 「講師」は、講師名、担当科目（項目）、資格等を事業所ごとに記載すること。

(11) 「実習施設」は、施設名、住所、設置者等を事業所ごとに記載すること。

(12) 「講師」、「実習施設」は、別紙として、それぞれ添付 3 号様式、添付 5 号様式を利用して構わない。

研修カリキュラム

令和元年 11月開講 広尾町社会福祉協議会介護職員初任者研修『研修科目及び研修時間』

日程	曜日	研修科目	研修項目	時間帯	時間数	内容
11月20日	(木)	開講式・オリエンテーション		16:00～16:30	30分	
11月21日	(木)	(1) 職務の理解 【6時間】 講 師：小 村 和 子	①多様なサービスの理解	16:30～19:40	3時間	講義、演習
11月22日	(金)	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援 【9時間】 講 師：西村隆宏・倉橋健	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	16:30～19:40	3時間	講義、演習
11月25日	(月)		①人権と尊厳を支える介護	16:30～19:40	3時間	講義、演習
11月26日	(火)		#	16:30～19:40	3時間	講義、演習
11月27日	(水)	(3) 介護の基本 【6時間】 講 師：中 山 悟 子	②自立に向けた介護	16:30～19:40	3時間	講義、演習
11月28日	(木)		①介護職の役割、専門性や他職種との連携 ②介護職の職業倫理	16:30～19:40	3時間	講義、演習
11月29日	(金)		③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月2日	(月)	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 【9時間】 講 師：①小原勇紀②藤井宏樹・鈴木直人 ③今村正樹	①障害者総合支援制度およびその他の制度	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月3日	(火)		②医療との連携とリハビリテーション	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月4日	(水)	(5) 介護におけるコミュニケーション技術 【6時間】 講 師：伊 藤 ゆかり	③介護保険制度	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月5日	(木)		①介護におけるコミュニケーション	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月6日	(金)	(6) 老化の理解 【6時間】 講 師：①藤田幸子 ②土屋純子	②介護におけるチームのコミュニケーション	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月9日	(月)		①高齢者と健康	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月10日	(火)	(7) 認知症の理解 【6時間】 講 師：杉 山 絹 子	②老化に伴う心と体の変化と日常	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月11日	(水)		①認知症を取り巻く状況 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ③認知症に伴う心と体の変化と日常生活 ④家族への支援	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月12日	(木)	(8) 障害の理解 【3時間】 講 師：荒 井 牧	①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識 ③家族の心理、かかわり支援の理解	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月13日	(金)	こころとからだのしくみと生活支援技術 【75時間】 講 師：小 玉 し の ぶ	①介護の基本的な考え方	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月16日	(月)	講 師：小 玉 し の ぶ	②介護に関するこころのしくみの基本的理解	16:30～20:40	4時間	講義、演習
12月17日	(火)	講 師：宮 下 むつこ	③介護に関するからだのしくみの基本的理解	16:30～20:40	4時間	講義、演習
12月18日	(水)	講 師：藤井宏樹・鈴木直人	⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護1	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月19日	(木)		⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護2	16:30～19:40	3時間	講義、演習
12月23日	(月)	講 師：有 岡 千恵子	④生活と家事1	9:30～12:40	3時間	講義、演習
12月24日	(火)	講 師：伊 藤 美智子	④生活と家事2	13:40～16:40	3時間	講義、演習
12月25日	(水)	講 師：宮 古 かをり	①睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護1	9:00～12:10	3時間	講義、演習
12月26日	(木)	講 師：吉 田 さゆり	①睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護2	13:30～16:40	3時間	講義、演習
12月27日	(金)	講 師：前 崎 涼 子	⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護1	9:00～12:10	3時間	講義、演習
1月6日	(月)	講 師：佐 藤 容 子	⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護2	13:00～16:10	3時間	講義、演習
1月7日	(火)	講 師：中 川 貢 範	⑨食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護1	9:00～12:10	3時間	講義、演習
1月8日	(水)	講 師：本 多 信 子	⑨食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護2	13:00～16:10	3時間	講義、演習
1月9日	(木)	会 場：広尾町デイサービスセンター	⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護1	9:00～12:10	3時間	講義、演習
1月10日	(金)	会 場：広尾町特別養護老人ホームつつじ苑	⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護2	13:00～16:10	3時間	講義、演習
2月8日	(土)	振り返り 講 師：橋 本 節 子	⑤快適な居住環境整備と介護1	9:00～12:10	3時間	講義、演習
2月25日	(火)	筆記試験による終了評価 【2時間】	⑤快適な居住環境整備と介護2	13:00～16:10	3時間	講義、演習
			⑨入浴、清拭保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護1	9:00～12:10	3時間	講義、演習
			⑨入浴、清拭保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護2	13:00～16:10	3時間	講義、演習
			実習オリエンテーション	16:10～16:30	20分	
			⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護1	9:00～12:10	3時間	講義、演習
			⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護2	13:00～16:10	3時間	講義、演習
			⑬介護過程の基礎的理解1	9:30～12:10	2.5時間	実習
			⑬介護過程の基礎的理解2	13:00～15:40	2.5時間	実習
			⑭総合生活支援技術演習1	9:30～12:10	2.5時間	実習
			⑭総合生活支援技術演習2	13:00～15:40	2.5時間	実習
			①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	9:00～13:10	4時間	講義、演習
			筆記試験による評価	14:00～16:10	2時間	試験
			閉講式		30分	